

東京二十三区清掃一部事務組合「清掃工場故障一覧」令和4年度(4月1日～3月31日)【連番】

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
51	光が丘	1号炉	休炉	R5.3.7	10:00	R5.3.10	18:00	R5.3.13	20:10	R5.3.14	11:31	2号高圧蒸気だめ出口弁のボンネットパッキンより蒸気漏れを確認した。共通系で焼却炉を立ち下げないと安全な補修作業が出来ないため、1号炉を立ち下げた。
50	港	3号炉	休炉	R5.3.6	10:33	R5.3.6	14:00	R5.3.7	21:15	R5.3.8	8:16	蒸気式空気予熱器の出口ダクトエキスパンション部分から空気が漏れていることを確認した。補修のため、焼却炉を立ち下げた。
49	練馬	2号炉	休炉	R5.2.4	10:00	R5.3.4	10:00	R5.3.7	15:10	R5.3.8	15:15	ストーカ循環水高架水槽の給水間隔が通常より早くなっていることを確認し、経過観察とした。その後、悪化を確認し、高架水槽へ給水が間に合わなくなることが予測されたため、焼却炉を立ち下げた。
48	品川	1号炉	休炉	R5.3.3	11:00	R5.3.3	18:33	R5.3.9	13:24	R5.3.10	14:14	点検時に主灰搬送装置直出口コンベヤ減速機の歯百破損を発見した。主灰搬送システムを非常系に切り替え運転を継続していたが、非常時主灰搬出装置のシュートブリッジが発生。主灰搬送が困難なため、焼却炉を立ち下げた。
47	板橋	2号炉	休炉	R5.2.23	4:55	R5.2.23	16:28	R5.3.3	16:13	R5.3.4	11:59	焼却炉運転中にストーカ温度低下及び燃焼悪化が発生したため、調査のため焼却炉を立ち下げた。降温後、ホップジャケットの冷却水漏れを確認した。
46	多摩川	1号炉	休炉	R5.2.10	8:34	R5.2.10	13:43	R5.2.14	18:44	R5.2.15	15:00	1号蒸気ドラムレベル上限が発報した。レベル調節弁の内部で漏れが疑われるため、焼却炉を立ち下げた。
45	豊島	2号炉	休炉	R5.1.21	0:00	R5.1.27	19:10	R5.3.1	14:48	R5.3.2	0:14	ボイラ給水流量と主蒸気流量偏差の増加が見られた。調査・補修のため、焼却炉を立ち下げた。
44	練馬	1号炉	休炉	R5.1.16	0:00	R5.1.16	15:00	R5.2.4	16:10	R5.2.6	14:00	炉室点検の際に水の滴下を確認し、調査したところボイラ給水ポンプから減温器行き配管から漏れを確認した。稼働の継続が難しいと判断し、補修のため立ち下げた。
43	世田谷	1号炉	休炉	R5.1.3	9:00	R5.1.5	20:02	R5.2.13	21:05	R5.2.14	12:04	スラグ流下口より冷却水の水漏れが見られたため、スラグバーナで開口を維持しながら運転していたが、流下口が閉塞したため、焼却炉を立ち下げた。(このまま中間点検に入る)
42	板橋	2号炉	休炉	R4.12.28	17:37	R4.12.29	13:30	R5.2.2	17:20	R5.2.3	15:25	灰押し出し装置から主灰が排出されないため、調査のために焼却炉を立ち下げた。(このまま中間点検に入る)
41	葛飾	1号炉	休炉	R4.12.18	14:53	R4.12.18	18:56	R4.12.19	22:15	R4.12.20	16:25	1号主灰搬出コンベヤの機器異常が発報し、主灰搬出コンベヤに異物(鉄パイプ60～70cm)が噛み込んでいることを確認した。稼働中に解除できず、主灰の排出が困難なため焼却炉を立ち下げた。
40	葛飾	2号炉	休炉	R4.12.9	5:49	R4.12.15	20:50	R4.12.26	20:00	R4.12.27	12:15	2号後燃焼ストーカの動作不良に伴う機器異常が発生した。ストーカ油圧駆動装置の圧力を調整しインテング運転等の対応をしたが、復旧が見込めないため焼却炉を立ち下げた。

東京二十三区清掃一部事務組合「清掃工場故障一覧」令和4年度(4月1日～3月31日)【連番】

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
				日	時	日	時	日	時	日	時	
39	世田谷	1号炉	休炉	R4.12.6	2:30	R4.12.12	10:00	R4.12.17	21:38	R4.12.18	11:01	溶融炉内にスラグが堆積しはじめ経過観察していたが、燃焼溶融炉炉内圧の制御が困難になるおそれがあるため焼却炉を立ち下げた。
38	練馬	2号炉	休炉	R4.12.3	13:00	R4.12.9	17:00	R4.12.15	15:10	R4.12.16	14:12	点検の際に燃焼ストーカの動作が途中で何かに引っかかったような一時的に緩慢になる不具合を確認した。経過観察を行っていたが、警報が発報するなど状況の悪化を確認したため、焼却炉を立ち下げた。
37	葛飾	1号炉	休炉	R4.12.3	18:39	R4.12.4	4:15	R4.12.6	21:03	R4.12.7	14:09	1号主灰搬出コンベヤの機器異常が発報し、現場を確認したところコンベヤチェーンとガイドレールの上に異物が挟まっていることを確認した。稼働中に解除できず、主灰の排出が困難なため、焼却炉を立ち下げた。
クレーン 6	港	2号ごみ クレーン	停止	R4.11.29	11:57					R4.12.16	17:00	巻上下装置異常のため、主幹ブレーカが漏電トリップし停止した。
36	北	1号炉	休炉	R4.11.14	10:00	R4.11.14	11:00	R4.12.22	19:42	R4.12.23	10:58	ボイラの給水量と蒸発量にかい離が発生した。調査のため、焼却炉を立ち下げた。
35	板橋	2号炉	休炉	R4.11.3	17:52	R4.11.4	13:30	R4.11.10	15:17	R4.11.11	11:37	灰押し装置から主灰が排出されていなかった。調査のため、焼却炉を立ち下げた。
34	大田(新)	1号炉	休炉	R4.10.31	10:29	R4.10.31	12:31	R4.11.9	20:14	R4.11.10	11:28	1号灰コンベヤ故障(瞬時過電流)が発報した。現場確認したところ、コンベヤ内部に異物の噛み込みとコンベヤチェーンが破断しているのを確認した。灰の搬出が出来なくなったため、焼却炉を立ち下げた。
33	多摩川	2号炉	休炉	R4.10.20	3:41	R4.10.20	6:00	R4.10.27	18:26	R4.10.28	13:56	2号飛灰搬出コンベヤ(2)故障(瞬時過電流)が発報した。主務チェーンがスプロケットに巻き込まれているのを確認した。飛灰の搬出が出来なくなったため、焼却炉を立ち下げた。
32	千歳	1号炉	休炉	R4.10.12	9:20	R4.10.12	11:34	R4.12.15	15:05	R4.12.16	20:28	日常点検中に、乾燥ストーカ駆動用油圧シリンダのロッドブーツが焼損し脱落しているのを発見した。ロッドシール部からの灰漏れが多く、調査補修のため、焼却炉を立ち下げた。(このまま定期補修工事に入る)
31	豊島	2号炉	休炉	R4.9.30	12:00	R4.10.7	13:30	R4.10.21	10:12	R4.10.21	18:16	不燃物堆積が原因と思われる炉床流動不良が発生し、燃焼管理に影響が生じていた。不燃物の状況確認及び除去作業を行うため、焼却炉を立ち下げた。
30	板橋	2号炉	休炉	R4.10.4	21:02	R4.10.4	21:03	R4.10.14	15:31	R4.10.15	10:14	焼却炉共通2系コントロールステーション制御不能により、計装空気圧力LL警報、機器冷却水高置レベルLL警報が発報し、緊急停止インターロックで2号炉が緊急停止した。
29	新江東	1号炉	休炉	R4.9.23	20:54	R4.9.24	13:31	R4.9.29	19:45	R4.9.30	18:20	1号炉No.1ボイラダストコンベヤRのトルクリミッタ作動による停止が発生。再運転を試みたが、その後も停止が多発したため、コンベヤ内部の調査のため、焼却炉を立ち下げた。

東京二十三区清掃一部事務組合「清掃工場故障一覧」令和4年度(4月1日～3月31日)【連番】

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
クレーン 5	多摩川	A号ごみ クレーン	停止	R4.9.16	8:37					R4.10.18	11:00	手動運転中にごみクレーンA号故障(巻上 MCCB断)が発報した。インバータ本体から異音を確認したので、調査のためクレーンを停止した。
28	北	1号炉	休炉	R4.9.7	8:40	R4.9.8	13:00	R4.9.19	20:47	R4.9.20	10:57	純水の使用量及び蒸気式ガス再加熱器の入口蒸気量の増加が見られた。蒸気漏れの疑いがあるため、焼却炉を立ち下げた。
27	葛飾	2号炉	休炉	R4.9.7	13:45	R4.9.7	21:00	R4.9.12	19:31	R4.9.13	11:17	2号主灰排出装置下部シュートの点検時、主灰の閉塞及び堆積を確認した。主灰の排出が困難なため、焼却炉を立ち下げた。
26	葛飾	1号炉	休炉	R4.9.6	4:30	R4.9.6	16:35	R4.9.13	23:30	R4.9.14	15:34	1号主灰排出装置下部シュートの点検時、不適物による閉塞及び主灰の堆積を確認した。主灰の排出が困難なため、焼却炉を立ち下げた。
25	世田谷	2号炉	休炉	R4.8.24	11:30	R4.8.24	13:00	R4.10.20	15:50	R4.10.21	6:26	減温塔ロータリースクレーパがサーマルトリップした。復旧を試みたがロータリースクレーパが動作しなかったため、焼却炉を立ち下げた。
24	練馬	2号炉	休炉	R4.8.17	20:26	R4.8.17	21:55	R4.8.23	15:34	R4.8.24	14:21	No.3灰コンベヤ故障が発報し、現場確認したところコンベヤチェーン破断及びスクレーパ脱落を確認した。灰の搬出ができず、運転継続が困難と判断し、焼却炉を立ち下げた。
23	千歳	1号炉	休炉	R4.8.8	16:34	R4.8.8	18:21	R4.8.17	14:13	R4.8.18	11:27	灰コンベヤが故障し、動作しなくなった。現場で正逆転を試みたが原因を特定できず復旧しなかったため、焼却炉を立ち下げた。
22	多摩川	2号炉	休炉	R4.7.30	13:04	R4.7.30	21:13	R4.8.5	18:26	R4.8.6	15:01	2号飛灰搬出コンベヤ(2)の主務チェーンが破断し運転が不能となった。飛灰の搬出が出来なくなったため、焼却炉を立ち下げた。
21	葛飾	2号炉	休炉	R4.7.29	10:26	R4.7.29	15:00	R4.8.3	20:48	R4.8.4	14:02	2号ストーカ下コンベヤの動作不良に伴う機器異常が発生した。コンベヤの正逆運転やインテグレーション等の対応をしたが、復旧が見込めないため、焼却炉を立ち下げた。
クレーン 4	多摩川	不適物 クレーン	停止	R4.7.20	8:20					R4.7.22	23:00	7月20日8時20分手動運転中に不適物クレーン故障(走行ELB断 走行インバータ故障)が発報した。走行が不能となったため、クレーンを停止した。
20	大田第一	3号炉	休炉	R4.7.18	7:00	R4.7.18	18:02	R4.7.25	16:54	R4.7.26	12:07	廃熱ボイラ・ガス温度が高いため調査したところ、No.2ボイラダストコンベヤ上部ホップのブリッジが疑われ、槌打にて解除を試みたが復旧の目途が立たず、焼却炉を立ち下げた。
19	板橋	1号炉	休炉	R4.7.16	4:09	R4.7.16	11:45	R4.7.20	15:17	R4.7.21	10:37	ストーカ下コンベヤで火格子を発見した。調査のため、焼却炉を立ち下げた。

東京二十三区清掃一部事務組合「清掃工場故障一覧」令和4年度(4月1日～3月31日)【連番】

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
クレーン3	多摩川	不適物クレーン	停止	R4.7.15	8:26					R4.7.15	11:57	7月15日8時26分手動運転中に不適物クレーン故障(走行ELB断 走行電源異常)が発報した。制御盤の走行用インバータにスパーク痕を確認したので、調査のためクレーンを停止した。
18	千歳	1号炉	休炉	R4.7.8	22:52	R4.7.9	13:35	R4.7.14	14:14	R4.7.15	12:46	燃焼ストーカ(右)の火格子が4個脱落していた。そのうち一部がストーカロッド上に噛み込み、後進動作しなくなった。
17	世田谷	2号炉	休炉	R4.7.8	22:18	R4.7.9	4:01	R4.7.11	23:45	R4.7.12	12:30	長抜差型スートブロワが前進端を越えたためサーマルトリップした。挿入されたまま引き抜けなくなったため、焼却炉を立ち下げた。
クレーン2	有明	2号ごみクレーン	停止	R4.7.8	20:41					R4.7.9	17:00	2号ごみクレーンが着床からの巻上中、バケット吊り下げハンガーから外れ、バケットがごみバンカ内に置き去りになった。
16	世田谷	1号炉	休炉	R4.7.5	8:56	R4.7.5	14:35	R4.7.14	20:47	R4.7.15	10:58	不燃物拔出装置から砂等排出が無くなり、内部の不燃物等による閉塞解除作業を行った。作業終了後、装置入口のガス化炉締切ゲートが開かなかったため、焼却炉を立ち下げた。
15	新江東	1号炉	休炉	R4.7.3	11:00	R4.7.4	11:00	R4.9.22	18:47	R4.9.23	19:11	1号炉ボイラの給水量と蒸発量にかい離が発生した。調査のために1号炉を立ち下げた。
クレーン1	光が丘	No.2ごみクレーン	停止	R4.7.2	10:53					R4.7.4	18:00	No.2ごみクレーンの開閉異常が発生し、漏電遮断器がトリップした。給電ケーブルを絶縁抵抗計で測定したところ、絶縁不良を確認した。
14	板橋	2号炉	休炉	R4.6.24	14:51	R4.6.24	17:19	R4.8.31	17:29	R4.9.2	4:52	ごみホッパゲート油圧ブロック付きの圧力計から作動油が漏洩し、発火の恐れがあるため、焼却炉を立ち下げた。
13	品川	2号炉	休炉	R4.5.16	9:00	R4.6.22	17:00	R4.6.27	18:07	R4.6.28	17:12	日常点検時、2号焼却炉No.2過熱低減器近傍より蒸気が漏れていることを発見した。経過観察していたが、漏れ量の増加傾向を確認。補修のため、焼却炉を立ち下げた。
タービン1	葛飾	タービン発電機	停止	R4.6.20	17:24					R4.6.22	0:30	界磁喪失が発生し、発電機用遮断器52TGが開放された。AVR内部の主回路にあるサイリスタが短絡し、故障が発報した。
12	新江東	2号炉	休炉	R4.6.16	14:00	R4.6.17	13:46	R4.6.22	15:48	R4.6.23	12:45	日常点検の際に、2号炉排ガス洗浄塔 急冷洗浄塔上部マンホールのフランジ部分のクラックを発見した。当該設備から排ガスの漏れが懸念されることから、補修のために焼却炉を立ち下げた。
11	練馬	1号炉	休炉	R4.6.11	4:46	R4.6.11	5:35	R4.6.17	15:09	R4.6.18	14:59	1号焼却炉運転中、1号押込ファンが停止した。その後、押込ファンを起動したが出力が上昇せず、焼却炉に燃焼用空気を送ることができなくなったため、焼却炉を立ち下げた。

東京二十三区清掃一部事務組合「清掃工場故障一覧」令和4年度(4月1日～3月31日)【連番】

連番	工場名	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
				日	時	日	時	日	時	日	時	
10	板橋	1号炉	休炉	R4.6.11	2:30	R4.6.11	5:27	R4.6.22	15:54	R4.6.23	11:23	焼却炉から灰が排出されていなかった。調査のため、1号焼却炉を立ち下げた。
9	足立	2号炉	休炉	R4.6.1	13:15	R4.6.10	15:00	R4.6.17	16:13	R4.6.18	10:39	2号炉蒸気式ガス再加熱器から蒸気漏れが疑われ、調査及び補修を行うため、焼却炉を立ち下げた。
8	世田谷	2号炉	休炉	R4.5.22	9:00	R4.6.2	15:24	R4.6.4	19:17	R4.6.5	9:42	不燃物排出装置のロータリージョイント部の詰まりにより、次第に冷却水の流量が少なくなった。不燃物排出装置の冷却が困難となったため、焼却炉を立ち下げた。
7	練馬	1号炉	休炉	R4.5.30	17:30	R4.5.30	18:52	R4.6.3	15:11	R4.6.4	15:09	No.2灰コンベヤのサイクロ減速機の故障により灰コンベヤが動作不能となった。灰の搬出ができず、運転継続が困難と判断し、焼却炉を立ち下げた。
6	葛飾	2号炉	休炉	R4.4.27	4:03	R4.4.27	7:30	R4.6.27	19:27	R4.6.28	11:01	2号主灰排出装置の動作不良に伴う機器異常が発生した。油圧駆動装置の油圧を調整しインテグレーション等の対応をしたが、復旧が見込めないため、焼却炉を立ち下げた。
5	千歳	1号炉	休炉	R4.4.23	2:00	R4.4.23	14:32	R4.4.27	17:01	R4.4.28	17:35	燃焼ストーカ(中)が後進動作しなくなり、炉内でごみを送れなくなったため、焼却炉を立ち下げた。
4	板橋	1号炉	休炉	R4.4.23	10:45	R4.4.23	11:10	R4.5.12	17:48	R4.5.13	13:05	日常点検において、乾燥帯ストーカ・軸ソール部(合成ゴム部分)が破損し、煙が漏れているのを発見した。調査のため、焼却炉を立ち下げた。なお、ごみホップシュートの水冷ジャケットの水漏れの懸念があるため、合わせて調査を行う
3	品川	1号炉	休炉	R4.4.7	13:16	R4.4.12	10:00	R4.4.16	15:43	R4.4.17	14:06	1号炉内に発生したクリンカが非常時主灰搬出装置に落下し、当該装置が破損した。1号炉の主灰搬送システムを常用系に切り替え運転を継続していたが、破損状況の調査が必要なため、焼却炉を立ち下げた。
2	豊島	2号炉	休炉	R4.4.7	13:33	R4.4.7	15:47	R4.4.14	16:37	R4.4.15	4:02	焼却炉内壁面に付着したクリンカが剥離し、そのまま流動層上に横たわり流動不良が発生した。ごみの供給を停止してクリンカの破壊を試みたが砂の流動が復旧せず、焼却不能と判断し、焼却炉を立ち下げた。
1	世田谷	2号炉	休炉	R4.4.2	21:36	R4.4.3	0:48	R4.4.14	2:02	R4.4.14	15:21	不燃物排出装置内に不燃物が詰まり、砂等排出が困難となった。復旧が見込めないため焼却炉を立ち下げた。
クレーン 4	多摩川	A号ごみ クレーン	停止	R4.3.30	20:20					R4.4.14	13:28	3月30日の20時20分自動運転中にごみクレーンA号故障(巻上 MCCB断)が発報した。手動にて巻上げを行った際、インバータ周辺にて異音が発生していた。調査のため、ごみクレーンを停止した。